

災害復興援助における援助供与国の政策的動機に関するゲーム論的研究  
 Political Motives on a Donor Country for Economic Aid for Disaster Reconstruction:  
 Game Theoretic Approach

○ 横松宗太・池内隆介・岡田憲夫

○ Muneta Yokomatsu, Ryusuke Ikeuchi, Norio Okada

For developing countries to recover from huge disaster, economic aid given by donors in humane manner is not always sufficient to meet the demand. In order to secure the continuous and stable aid, it is necessary to develop a framework that is consistent with economic and political motives of donor countries. This study formulates a liked game model with incomplete information to investigate a donor country's strategies that are motivated by establishing its influence both on a recipient country and an international organization. The study further examines the response of the recipient country and economic value of the multilateral aid.

### 1. 援助の段階と種類

自然災害により被災した開発途上国にとって、海外からの援助は不可欠である。実際に災害直後には被災国に対して人道的動機により多くの援助が行われる。しかし被災国が災害緊急支援の段階のみならず、長期的な復興プロセスにおいて継続的に資金を得るためには、供与側の経済的動機と整合的な枠組みが必要となってくる。

援助の経路には二国間援助と多国間援助がある。二国間援助では、援助供与国は直接援助供与を行うことにより被援助国に対する影響力を増加させることができる。一方、多国間援助では、国際機関のモニタリング機能が優れている点等が指摘されている。また、援助形態にはグラントと借款がある。グラントは返済の必要がないために被援助国の負担は少ないと考えられる。一方借款は返済があることから援助供与国側の負担が少なく、被援助国にとっても結果的にグラントより多額の援助が得られる可能性もある。各援助経路・援助形態には、それぞれにさまざまな特徴が存在する。本研究では援助供与国の政治的動機に着目する。そして援助供与国の戦略的援助行動と、被援助国の受け入れ行動についてゲーム理論を用いた分析を試みる。さらに両者にとっての多国間援助の意味について検討することを目的とする。

### 2. 援助供与国の選択

ある開発途上国が被災し、その後、援助供与国からの人道的動機に基づいた災害緊急支援が終了した段階を対象とする。被援助国では長期的な経

済発展のためのインフラの復興資金等が不足しているものとする。ここでは議論を限定し、二国間援助はグラント、国際機関による多国間援助は借款の組み合わせのみを対象とする。援助供与国は、被援助国に対するグラント供与と、国際機関への出資について意思決定を行う。援助供与国はグラントによる二国間援助を通じて、見返りとして、その後の国際政治における協力を期待する。一方、国際機関への資金提供は、その後に国際機関でイニシアティブをとる上で重要となる。国際機関の資金の多くの割合を提供しているほど、国際機関で大きな影響力をもつことができる。

### 3. 二つのゲーム

被援助国は援助供与国の政治的動機について正確に知ることはできない。援助供与国の要求は、被援助国にとって応じがたいものであるかもしれない。すなわち被援助国にとってはグラントの対価にリスクが存在し、そのリスクが大きいときには国際機関から借款を受けることが合理的となる。

一方、援助供与国は、国際機関におけるイニシアティブを巡って他の先進国とゲームをしている。もし援助供与国に豊富な資金があれば、被援助国と国際機関の双方に十分な資金を提供することができる。しかし供与国の資金が有限であるとき、資金を双方にどのように配分するかが問題となる。このとき援助供与国は他の先進国の国際機関に対するスタンスも考慮する必要がある。また被援助国に対して、政治的意図がないことを伝えることが必要となる場合もある。